

スズキ、軽乗用車「スペーシア」が国内累計販売台数 100万台を達成



初代スペーシア



2代目スペーシア(現行モデル)

スズキの軽乗用車「スペーシア」が、4月2日に国内累計販売台数 100万台を達成^{※1}した。2013年3月の発売開始から8年2カ月での達成となった。

「スペーシア」は2013年3月に「広くて便利、軽くて低燃費の軽ハイトワゴン」をコンセプトに発売した。発売以来、広く開放的な室内空間、使いやすく乗り降りしやすいパッケージング、充実した安全装備、優れた燃費性能でご好評をいただいている。

現在販売している2代目スペーシアは2017年12月に全面改良し、前方の衝突被害軽減ブレーキに加え、軽自動車でも初採用^{※2}となる後退時の衝突被害軽減ブレーキを採用するなど、安全装備をさらに充実させた。

2018年12月にはスペーシアの新モデル「スペーシア ギア」を発売し、魅力的なラインアップでお客様の多様なニーズに応えている。

スペーシアは、2020年度販売台数 約 145,000 台と、スズキの主力車種のひとつである。

※1 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会データよりスズキ調べ。

※2 2017年12月時点、スズキ調べ。

【スペーシアの歴史】

- 2013年 3月 初代「スペーシア」発売
- 2013年 6月 「スペーシア カスタム」発売
- 2013年 11月 「2013-14 日本カー・オブ・ザ・イヤー スモールモビリティ部門賞」を受賞
- 2017年 12月 2代目「スペーシア」「スペーシア カスタム」発売
- 2018年 12月 「スペーシア ギア」発売
- 2020年 8月 「スペーシア」「スペーシア カスタム」「スペーシア ギア」を一部仕様変更して発売